

科目名	福祉と文学	科目分類	<input type="checkbox"/> 専門科目群 (第1グループ)
			<input checked="" type="checkbox"/> 総合科目群 (第2グループ)
英文表記	Welfare and Literature	開講年次	<input checked="" type="checkbox"/> 1年 <input checked="" type="checkbox"/> 2年 <input checked="" type="checkbox"/> 3年 <input checked="" type="checkbox"/> 4年
ふりがな	はしもと しほ	開講期間	<input type="checkbox"/> 前期 <input checked="" type="checkbox"/> 後期 <input type="checkbox"/> 通年 <input type="checkbox"/> 集中
担当者名	橋元志保	修得単位	2単位
授業のテーマ	福祉の歴史について学びながら、「利他の心」「無私の精神」に関する様々な評論や史伝を読み解き、人道支援の意義及び必要性について理解できるようになる。		
到達目標	<p>この授業の単位を良好な成績で修得した場合、次のような知識・能力を修得できます。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>日本の福祉の歴史について把握し、人道支援に携わった人々の評伝やノンフィクション文学を通じて、人道支援の意義について理解することが出来る。</li> <li>主要な国連の人道機関の活動や「難民の地位に関する条約」、「子どもの権利条約」等を把握し、説明することができる。</li> <li>「難民の世紀」と呼ばれる現状を把握し、その発生原因や紛争地域の状況、人道支援の必要性について理解できるようになる。</li> </ol>		
授業概要	日本における福祉の原点は、聖徳太子が創設した悲田院に始まると云われています。仏教と深く結びついた福祉という思想は、近代に入るとキリスト教人道主義の下で発展し、現代まで存続する日本赤十字社や様々な社会活動となっていきました。しかし、「人がひとを救う」という行為は無論、近代以前にも存在しており、秋田をはじめとする東北でも天災や飢饉と闘い、私財を投げ打って、困窮する民衆を救った人物は数多くいたのです。本講義では、福祉の歴史について学びながら、「無私の精神」に関する様々な評論や史伝を読み解き、「本当の幸福とは何か」について考察していきます。		
授業計画			
第1回	福祉という思想－「利他の心」とは何か－		
第2回	子どもの人権と社会福祉Ⅰ－子どもの権利条約とユニセフ－		
第3回	子どもの人権と社会福祉Ⅱ－ユニセフの活動とシリア難民－		
第4回	子どもの人権と社会福祉Ⅲ－難民と子どもの貧困－		
第5回	ふるさと秋田の偉人たち－『村守る、命かけても 高橋正作伝』を読むⅠ－		
第6回	ふるさと秋田の聖農たち－『村守る、命かけても 高橋正作伝』を読むⅡ－		
第7回	東北の偉人たち－磯田道史『無私の日本人』を読むⅠ－		
第8回	郷土の文化を知る－磯田道史『無私の日本人』を読むⅡ－		
第9回	社会福祉の原型－磯田道史『無私の日本人』を読むⅢ－		
第10回	キリスト教と博愛－日本赤十字社(博愛社)の設立－		
第11回	博愛と人道主義－マザー・テレサの生涯と思想－		
第12回	福祉と教育－マララ・ユスフザイ自伝を読むⅠ－		
第13回	国連の活動と教育－マララ・ユスフザイ自伝を読むⅡ－		
第14回	緒方貞子と人道援助－国際紛争と難民－		
第15回	緒方貞子と人道援助－難民に尊厳を－		
第16回	定期試験		
授業時間外の学習	<ol style="list-style-type: none"> <li>授業で取り上げる評論や史伝を、指定された頁まで必ず読んできてください。また、難解な漢字や語句の意味は必ず調べておきましょう(1時間程度)。</li> <li>課題プリントを毎回配布しますので、授業を復習しながら記述し、提出してください(1時間程度)。</li> <li>授業時に紹介する評論や史伝等を、ぜひ読んでみましょう(1～2時間程度)。</li> </ol>		

履修条件 受講のルール	「文章の読み方」または「日本の文学」を履修していることが望ましい。それ以上に、授業態度が真面目で、主体的であることが望ましい。
テキスト	授業時に資料を配布します。中村元『人生を考える』（青土社 2000年）磯田道史『無私の日本人』（文藝春秋 2012年）マハラ・ユスフザイ『わたしはマハラ』（学研パブリッシング 2013年）他
参考文献・資料	中村 元『慈悲』（講談社学術文庫 2010年）梁瀬均『村守る、命かけても 聖農 高橋正作伝』（秋田魁新報社 2007年）中井俊巳『マザー・テレサ 愛の花束』（PHP 研究所 2007年）小山靖史『緒方貞子 戦争が終わらないこの世界で』（日本放送協会出版 2014年）他
成績評価の方法	【主体的な学びの姿勢（15%）、課題の提出（25%）、試験（60%）】の総合評価とします。 1. 出席回数が規定に満たない場合及び授業料その他納入金等の全額を納めていない場合は、試験を受けることが出来ません。 2. 出席確認時に不在だった場合、原則としてその回は欠席とします。 3. 講義中に無許可で退出した場合は、欠席とします。
オフィスアワー	水曜日 14:40～16:10 木曜日 14:30～16:10 ※これ以外の時間は、事前に予約してください。
成績評価基準	平成 28（2016）年度以降に入学した学生 秀（100～90点）、優（89～80点）、良（79～70点）、可（69～60点）、不可（59点以下） 平成 27（2015）年度以前に入学した学生 優（89～80点）、良（79～70点）、可（69～60点）、不可（59点以下）
学生への メッセージ	福祉やボランティアの原点や、その歴史について一緒に学びましょう。心洗われる話や慈愛に満ちた人々の逸話を、数多く取り上げます。